

項目	説明	
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	進行卵巣癌初回治療における CT ガイド下生検の有用性の検討
	研究対象者	2020 年 1 月から 2023 年 12 月に神奈川県立がんセンターで進行卵巣癌の治療開始前に CT ガイド下生検を受けた方
	研究目的	進行卵巣癌の診断や治療方針を決定するためには癌の組織採取が必要一般的には開腹手術や腹腔鏡手術が必要とされてきました。これらの手段は全身麻酔が必要でまた手術までの待機期間も長く、これらの課題をクリアするために当院では CT ガイド下生検を代替手段として使用してきました。この手段でも問題なく卵巣癌治療ができることを示すことが本研究の目的です。
	研究方法	これまで CT ガイド下生検を受けられた方の診療録から年齢、身長、体重、癌の組織型、BMI、方針決定から実施までの日数、実施から抗がん剤治療開始までの日数、生検で行った診断、手術検体との結果の比較などを行います
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西暦 2024 年 1 月 22 日～西暦 2024 年 12 月 31 日
	利用又は提供を開始する時期	[ <input checked="" type="checkbox"/> ] 総長が研究実施を許可した日 [ <input type="checkbox"/> ] 西暦 年 月 日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します）	[ <input type="checkbox"/> ] 試料:	[ <input type="checkbox"/> ] 血漿、[ <input type="checkbox"/> ] 血清、[ <input type="checkbox"/> ] 全血、[ <input type="checkbox"/> ] 末梢血から抽出した DNA、 [ <input type="checkbox"/> ] 病理検体(具体的に記載: _____)、 [ <input type="checkbox"/> ] 尿、[ <input type="checkbox"/> ] 糞便、[ <input type="checkbox"/> ] 唾液、[ <input type="checkbox"/> ] 胸水、[ <input type="checkbox"/> ] 腹水、[ <input type="checkbox"/> ] 脳脊髄液、 [ <input type="checkbox"/> ] 毛髪、[ <input type="checkbox"/> ] その他(具体的に記載: _____)
	[ <input checked="" type="checkbox"/> ] 情報:	[ <input checked="" type="checkbox"/> ] 診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[ <input checked="" type="checkbox"/> ] 年齢、[ <input type="checkbox"/> ] 生年月日、[ <input type="checkbox"/> ] 性別、[ <input type="checkbox"/> ] 既往歴、[ <input type="checkbox"/> ] 併存疾患、[ <input type="checkbox"/> ] 外来日・入院日・退院日、[ <input type="checkbox"/> ] 臨床検査値、[ <input type="checkbox"/> ] 放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[ <input checked="" type="checkbox"/> ] 臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、[ <input type="checkbox"/> ] ゲノムデータ、[ <input type="checkbox"/> ] 看護記録、[ <input type="checkbox"/> ] その他(具体的に記載: _____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	婦人科 納富嗣人
	共同研究機関および責任者	なし
	その他の機関	なし
	外国へ提供する場合	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	神奈川県立がんセンター 婦人科 納富嗣人 利用停止のお申し出は 2024 年 3 月 31 日までにお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります	